

一筆啓上

作左通信



第十号

平成十三年十月二十一日(日)発行

「六ツ美」と聞いてまず
思い浮かべることは、何で
しょう。「田んぼや畑が多
いところ」という答えが多
く返ってくるように思われ
ます。実は、約四十年前ま
で六ツ美では、菜の花が大
変多く栽培されていました。
四月になると、六ツ美一体
が、「黄色いじゅうたん」
のようだったといえます。

その菜の花色をイメージ
しつくられた学校が、六ツ
美西部小学校です。西部小
は開設して、今年で五年目
を迎えました。開校当初か
ら、子供たちが自ら学び、
豊かな心が育つように、地

域と一体化した学校づくり
を目指しています。

来年度から新たに総合的
な学習が始まります。西部
小では、この学習を「な
はな学習」と名付け、生活
科を含め、一昨年からテー
マを決めて実践に取り組ん
でいます。

本年度の一年生のテーマ
は、「げんきキッズ」みん
ななかよし。自然、人
とのかかわりを大切にした
学習を行っています。二年
生、「とびだせ、わくわく
たんけんたい」は、子供た
ちが学区にとびだして「町
自慢」を見つけています。

三年生、「広げよう友だち
のわ」は、西部の町を調べ
友達や学区の人たちに知ら
せようという内容です。四
年生、「ふれあいとどけマ
イハート」は、地域に住ん

でみえるおじいさんやおば
あさんとふれあうことを通
して、心のふれあいの大切
さ学ぶ学習です。五年生、
「今、救おう！わたしたち
の生命の源『食』ワールド」
は、学区でとれる米や野菜
を通して、これからの六ツ
美の農業について考える内
容です。六年生は「ヒスト
リー・トラベラーズ」。グ
ループに分かれ、それぞれ
が持ったテーマをもとに、
調べ学習を行う学習です。
どの学年にも、多くの保護
者や地域の方が、参加・参
画し、子供たちの学習意欲
を大いに高めています。

その他には、毎週水曜日
の「読み聞かせ」やクラブ
活動、地域の方が先生とな
って知恵や技術を教えてく
ださる「菜の花カーニバル」
などがあります。

このような地域の方々の
温かさや協力によって、子
供たちの学ぶ力や思いやり
の心が育っていくのではな
いでしょうか。学区の偉人
本多作左衛門が大切にした
思いやりの心が、西部小学
区にいきづいているように
思われます。



おばあさんと交流する子供たち
(4年なのはな学習「ふれあいとどけマイハート」より)